【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】令和7年1月15日(2025.1.15)

【公開番号】特開2024-16573(P2024-16573A)
【公開日】令和6年2月7日(2024.2.7)
【年通号数】公開公報(特許)2024-024
【出願番号】特願2022-118807(P2022-118807)
【国際特許分類】
Ｆ２３Ｃ　1/06(2006.01)
Ｆ２３Ｃ　1/10(2006.01)
Ｆ２３Ｃ　1/12(2006.01)
Ｆ２２Ｂ　1/18(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２３Ｃ　1/06
Ｆ２３Ｃ　1/10
Ｆ２３Ｃ　1/12
Ｆ２２Ｂ　1/18　　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】令和6年12月27日(2024.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
発電用ボイラの燃焼室内で炭素を含む燃料と、炭素を含まない無機固体燃料と、を混焼させる火力発電方法であって、
前記無機固体燃料が、マグネシウム、リチウム、アルミニウム、及び、マグネシウム、リチウム、アルミニウムの少なくとも一部が水素化された水素化物から選ばれる１種以上の材料からなる、火力発電方法。
【請求項２】
前記無機固体燃料が、マグネシウム、及び、マグネシウムの少なくとも一部が水素化された水素化物から選ばれる１種以上の材料からなる、請求項１に記載の火力発電方法。
【請求項３】
前記炭素を含む燃料が、炭素を主体とする固体燃料である、請求項１に記載の火力発電方法。
【請求項４】
前記固体燃料が、粉末状であり、
前記固体燃料は、前記燃焼室に設けられた粉末燃焼バーナを用いて燃焼され、
前記無機固体燃料が、前記粉末燃焼バーナによって形成される火炎中に供給される、請求項３に記載の火力発電方法。
【請求項５】
前記炭素を含む燃料が、常温、常圧で液体、又は、気体の炭化水素系燃料である、請求項１に記載の火力発電方法。
【請求項６】
前記炭化水素系燃料は、前記燃焼室に設けられた燃焼バーナを用いて燃焼され、
前記無機固体燃料が、前記燃焼バーナの火炎中に供給される、請求項５に記載の火力発

電方法。
【請求項７】
前記混焼時に、前記燃焼室内の湿度を上昇させる、
請求項１に記載の火力発電方法。
【請求項８】
ボイラ装置の燃焼室内で、炭素を含む燃料と、炭素を含まない無機固体燃料と、を混焼させる、
ボイラ装置の運転方法。